JFT Online Marugoto 4 (A2-B1)　Lesson Plan

トピック3「ほっとする食べ物」

レベル	4	授業日時	第10週　2022年11月15日（火）　18:30-21:00
教科書	まるごと初中級　□まるごと音声		
トピック	3．ほっとする食べ物　P47-49		
Can-do	13．自分の食生活について話す		
ふるさと紹介	発表		
Google Classroom	□宿題		

Time	Contents
18:30-19:00 (30)	1. あいさつ 2. グループで自由に話す。（BO 7分） 3. 話したことをシェアする 4. 文化紹介七五三クイズ 5. 先週の宿題から
19:00-19:20 (20)	[3]話す　P47 1. 音声を聞きながら、目を通す。 2. 談話の流れや表現の確認 3. 音声を聞いてシャドーイング 4. BO:ペアで話す（3分） • 教科書通りの談話の流れを暗記したりしなくてよく、時々教科書を見ながら話してOK. • ペアの相手の顔を見ないで教科書だけ見て音読することにはならないこと
19:20-19:25 (5)	[ことばと文化］ 1. 質問文を受講生が読む 2. MRでみんなの意見を聞く 3. 誰かに会話してもらう。 **苦手だということをわかってもらうために、感じよく言うにはどうするか考える。**
19:25-19:45 (20)	3．聞いて話す2 Can-do13の確認 [1]聞きましょう 1. 状況文を受講生が読む 2. 指示文やイラストから場面を確認する。 場面：場面が外国（タイ）に変わり、2と日本人と外国人の立場が反対になっている。ここでは仕事でバンコクに赴任している川井（日本人）が、スリポーン（タイ人）に生活の様子を話すという設定。2人は職場近くの店で昼食をとっている。スリポーンは川井の食生活を気遣って、夕食はどうしているか聞く。スリポーンはことば数は少ないが、その質問が会話をリードしている点に気づいてほしい。 3. (1)の指示文を受講生が読む。

©The Japan Foundation, Toronto

	4. スクリプトは見ないで2回くらい聞く4min 5. どんなことを話していますか。自由に話す3min 一回ですべてくわしくわからなくてもいいです 6. (2)の指示文を受講生が読む。 7. 各自記入する3min 8. どんな話の展開か話す 9. 音声を聞いて、答え合わせ。3min 10. 一人一文読ませて内容の確認3min 11. 質問があれば話し合い・説明
19:45-20:00 (15)	「2」発見:「～から」「～ので」 1. 各自やる2min 2. BO3分 3. 接続の確認 4. 答えの確認と「から」「ので」の違い • 形や意味合い （スピーチレベル（印象）の変化・用途について）
20:00-20:10 (10)	休憩
20:10-20:40 (30)	[3]メモを書いて話す 学習者が会話の中心になって自分のことを少し長くくわしく話すことを目標としている。そのために、まず、メモを作成する。 1. (1)の指示文を受講生が読む 2. メモを各自読む。3min 3. メモを見ながら音声を聞く。（シンクロナイズドリーディング）3min 4. メモの構成を確認。4つの質問に答えるように。 5. メモを書いて各自練習（10 分）文を二つ以上並べて、少し長く話してみましょう。 6. (1)の指示文を受講生が読む 7. ペアかグループで BO(10分）
20:40-20:55 (15)	ふるさと紹介 発表 2～3人
-21:00	ふりかえり

©The Japan Foundation, Toronto